

5) 冬の服装

札幌では冬は気温が低く、雪がたくさん降るので外に出る際には必ずセーター、コートで防寒対策をとりましょう。帽子やマフラー、手袋といった小物も忘れないようにしてください。雪が降るといっても気温が低いので乾燥した雪ですので、服がぬれることはあまりなく、傘はどうしても必要というわけではありません。

6) 冬の歩き方

冬の札幌は、道路が凍って非常に危険です。歩くときには、腰を落として重心を低くし、すり足で歩きます。こうすると、すべって転んだりすることなく歩けます。かかとから地面に足をつける歩き方をすると、後ろ向きに倒れて、腰や背中を打ったり、手を突いたときにひねったりするので危険です。

街中では特に道路が凍っていて危険です。靴につける簡易スパイクや「冬靴」といって靴底がすべりにくくなっているものや、スパイクピンが埋め込んである靴が売り出されます。それを履いても滑ることがありますので、雪の上ではみな、すり足で歩きます。



滑り止めピンのついた冬靴



取り外し可能な簡易滑り止め

開花

雪がとけて春が来ると札幌ではいっせいに花が咲きます。日本を象徴する花、サクラの開花日は那覇での開花は1月19日、東京は3月28日と次第に北上して3ヶ月余り後に北海道へは5月5日前後にたどりつきます。

また、5月は同時にライラック、ヤマツツジ、こぶし、梅、藤などが開き、札幌市民に本格的な春の到来を感じさせてくれます。

日本には「お花見」といって、桜が咲くと桜の木の下に敷物を敷いてお酒を飲んだり、お弁当を食べたりしながら桜を見て楽しむ習慣があります。会社でお花見をする場合、新入社員が場所取りをさせられることが多いです。

5月のライラック祭りの頃、急に冷え込むことを札幌ではとくに「リラ冷え」という美しい名前です。